

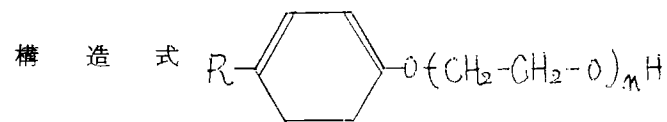
ポリオキシエチレンアルキルフエニルエーテル
の分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年11月4日～昭和50年1月25日
2. 試料名 ポリオキシエチレンアルキルフエニルエーテル
(試料No K-49)

エチレンオキシドの付加モル数により

試料 A: $n=9\sim10$ 平均9.5

試料 B: $n=30\sim50$ 平均40



3. 試験方法及び条件 環 保 業 第 5 号 } 微生物等による化学物質
薬 発 第 6 / 5 号 } の分解度試験による
49基局第392号 }

ただし 試料濃度 30 ppm

試験期間 3 週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

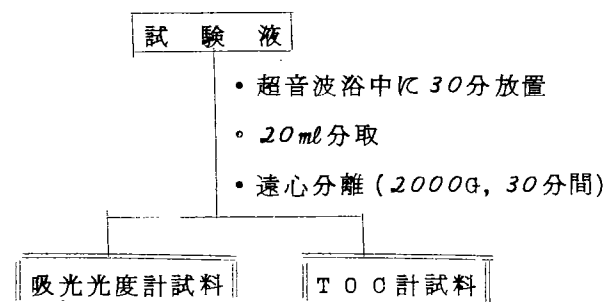
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

紫外可視自記分光光度計

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TOC回路 200ml/min

温度 TOC炉 900℃

紫外可視自記分光光度計(吸光光度計)

波 長 210nm~340nm

スリット幅 4nm

使用セル 石英セル10mm×10mm

4. 試験結果

		分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	A	0	1	—
	B	0		
TOC計による結果	A	14.3	2	1
	B	10.3	3	2
吸光光度計による結果	A	※(—)	4, 6, 7	3
	B	※(—)	5, 6, 8, 9	4

※ 負の値を得たので(—)とした

5. その他

UV測定において、 225nm λ_{max} （フェニル核）があるが、これは汚泥の妨害を受ける為採用しなかつた。

以 上